

- 広報いたくら2022年6月号に広域避難に関する情報を掲載しました。

利根川や渡良瀬川の氾濫の危険性を事前に感じたら
ためらわず早めに**個人広域避難(町外)**

市町では公的な避難先の確保を進めていますが、収容できる人数に限られます。
日頃から「親戚・知人宅や宿泊施設・勤務先等の自主避難先」の確保を覚えておきましょう。

まず
浸水の恐れがある地域の「親戚・知人宅や宿泊施設・勤務先」

つぎに
代替が設定する避難先

各自で確保
これが最も安全で快適

浸水想定区域にお住いの皆様、知人がいる方は、避難の声かけや避難の受け入れをお願いします。

※1 広域避難地の自治体への依頼。または、自らの自治体内であっても、居住地域外、地区外への避難先への立寄り避難
※2 自主避難先(自治体指定)確保する対象ではなく、親戚宅・知人宅、泊施設、宿泊施設など、住民が自ら確保した避難先(屋内安全確保施設等)

利根川中流4県境広域避難協議会
(板倉町・加須市・古河市・埴町・坂東市・館林市・佐野市・筑前町・利根川上渡河川事務所)

利根川中流4県境広域避難協議会
「利根川中流4県境広域避難協議会」は、利根川中流4県境(利根川・渡良瀬川)の洪水被害を軽減し、自主避難先を確保するための協議会です。

避難場所が足りません

利根川が氾濫した場合には、広範囲に深い浸水と長期間の浸水が想定されます。利根川中流域の市町(板倉町、加須市、古河市、埴町、坂東市)の浸水区域内の人口は約13万人になり、板倉町ではその大部分が浸水区域となります。それぞれの市町の中で避難するには、避難所に入れないかたが大勢出てしまいます。避難先は、浸水の恐れがない町外の親戚、知人宅や宿泊施設、勤務先などをご検討ください。

浸水区域にとどまると
浸水の中で水が引くまでの2週間以上の間、電気・ガス・トイレが使えない生活に耐えなければなりません。

町内の避難場所もほぼ満員状態
入れても、決して避難場所ではありません。

広報いたくら 2022年6月号より

- 広報かぞ2022年8月号に水害に関する掲載をしました。

特集 水が迫る、その前に――

令和元年東日本台風の記事

避難情報の発令

- ①10月12日 16時20分
特定1～8区に避難準備・高齢者等避難開始を発令
- ②10月13日 1時00分
北川辺地域に避難指示（緊急）を発令
- ③10月13日 2時00分
大井原地域、加須地域、碓氷川地区、大井原地区に避難指示（緊急）を発令

河川の最高水位

- ▶利根川薬橋水位観測所
9.61m (10月13日 3時00分)
※氾濫危険水位 (8.90m) を10時近く超過
- ▶碓氷川古河水位観測所
8.99m (10月13日 9時00分)

避難者数

約9,616人

避難指示発令地区の避難方法

自家用車など 約8,000人
バス 約500人

避難所開設状況

広域避難所 市内12カ所
市外 4カ所
自主避難所 市内29カ所
※重複を除き、合計44カ所

出典：加須市、令和元年台風第19号対応
検証報告書、2020



東日本台風時の状況 (10月13日 14時35分)



平常時の状況

写真提供：利根川上流河川事務所

――東日本台風が、まもなく3年――
8月になり、台風の名前はだんだんと華やかに変わり、関東地方に接近する本格的な台風シーズンを迎えます。利根川・碓氷川ははたりに住む私たちは、その豊かな恵みを受取る一方で、氾濫という自然の猛威にも備えなければなりません。

関東甲信越地方や東北地方で記録的な大雨となり、各地に甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風（台風第19号）（以下、「東日本台風」という）
東日本台風では、市として初めてとなる避難指示（緊急）を深夜1時に発令、市が把握しただけでも、500人を超える方が避難しました。避難場所へ向かう車で埼玉大橋などに渋滞が発生し、避難には長い時間を要しました。開設した避難場所もその多くが満員、糞尿となりました。また、台風の前雨の中で防災準備が間に合わず情報が伝わらないなど、多くの混乱がありました。
その後、市では避難情報発令基準の見直し、避難場所の確保、防災アプリの公開、防災ラジオの無償貸与などの東日本台風での課題への対策に加え、コロナ禍における避難対策を講じてきました。

水が迫る、その前に――



早いもので、市政を担当させていただき3カ月が経過しました。改めて、皆さんの温かい御支援、御協力を頂きながら、市政を運営させていただいていることに厚く感謝申し上げます。

今月から連載の「市長コラム」の中で私が日頃考えていることや感じていることを皆様にお伝えしたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

さて、台風への備えの時期となりました。本市は、利根川や碓氷川といった大河を抱えています。万が一の水害時には、早く遠くの安全な場所に避難することが必要です。

避難場所以外に親戚や知人宅など自主避難先の確保も必要です。避難する人、受け入れる人、支援する人、関係する全員で水害時の広域避難の意識を高めてまいりましょう。

また、飲料水や食料の確保、避難計画の確認、防災訓練への参加など日頃から備えていきましょう。

台風への備えを！

加須市長 **角田守良**

広報かぞ 2022年8月号より

- 広報かぞ2022年8月号に広域避難に関する掲載しました。

特集 水が迫る、その前に—

地域みんなで逃げる — 共助の取り組み —

栄東自治会・自主防災会 事務局 寺本 道郎さん
北川辺地域の東側、利根川に接する地区にある栄東自治会・自主防災会（以下「自主防災会」という）では、自主的に広域避難訓練を行うなど、共助の取り組みを進めています。事務局の寺本さんに話をお聞きしました。

— 訓練を始めたきっかけ —
広域避難訓練を始めたきっかけは、平成30年7月に開催された市主催の防災講演会です。片岡敬孝 特任教授（東京大学大学院情報学環・元加須市防災会議委員）が、講演会の直前に発生した西日本豪雨で甚大な被害のあった岡山県倉敷市真備町などの教訓から、広域避難の重要性を訴えるものでした。

北川辺地域は、地理的に真備町と同じ状況で、栄東地区でもすぐに広域避難に取り組み必要性を感じました。翌8月には自主防災会で集まって相談、9月には自家用車に乗り合いをして広域避難訓練を行いました。

— 現在の活動 —

一つの柱は、広域避難訓練です。私たちの自主防災会では、これまでに8回行っています。東日本台風では、それまでに行っていた訓練の経緯が役立ちました。今年6月の訓練では、志多見小学校（市が指定する栄東地区の避難場所）や、参加者が自分で探した市外の避難場所などへ避難する訓練に、24人の方が参加しました。

もう一つの柱は、要援護者対策です。東日本台風では、多くの逃げ遅れがあり、特に誰かの支援が必要な要援護者の避難は大きな課題と考えています。要援護者として登録を希望する方に対し、支援者として手を挙げていただける方は、まだ少ない状況です。自主防災会として、要援護者と支援者のマッチングを進めています。

— 今後の取り組み —

地区の皆さんの防災意識を高め

— 個人の行動も大切 —

ていくことが大切です。自分のこともそうですが、「隣の人は逃げられるのか、そういうことを考えながら、地域みんなで逃げる。そんな意識をもって防災活動に参加してもらえるように取り組みを進めています。

一方で、個人の行う自動も大切です。いつ、どこに逃げるかを決めておくことが初めの一歩です。これには水害時の避難行動マップにも掲載されているマイ・タイムラインが役立ちます。自主防災会でも全世帯に配布しています。皆さんも、ご家庭で作成してみてくださいか。

マイ・タイムライン

いざというときに備え、普段からマイ・タイムラインに記入しておきましょう。

広域避難訓練に密着

1 集会所や自宅から、自家用車で避難場所へ出発

2 避難場所（志多見小学校）に到着

3 避難場所の開設・運営への協力に当たっての説明を聴く

4 受付方法などを確認

5 実際の避難スペースや備蓄物資を確認

6 訓練終了後に各自で報告書を作成し、自主防災会に提出

自主防災組織（会）

— 自分たちの地域は自分たちで守る — という考えのもと、地域住民が自主的に防災活動を行う組織のことです。大規模な災害では、市役所や消防、警察や自衛隊などの公的機関による救助活動（公助）の力は必ず不足します。そのときに、地域を守る力となるのが自主防災組織です。特に大規模水害時には、身体的に、心理的に避難が難しい場合があります。一人ではなく、みんなで避難するためには、日頃からの関係づくりが大切です。

自主防災組織の訓練

広域避難

広域避難とは、お住まいの地域・地区を越えて避難することです。利根川など大川が氾濫すると加須市のはとんどは浸水します。特に、北川辺地域、大利根地域、加須地域、津川地区・大越地区では、浸水深が深く、氾濫した水流による家屋の倒壊が予測されるため、必ず広域避難が必要です。いざというときに的確に行動するには、事前の計画や訓練が欠かせません。

7 KAZO 令和4年(2022年)8月号

令和4年(2022年)8月号 KAZO 6

- ・ 広報古河2022年8月号に水害特集に関する情報を掲載しました。

特長 >>>>

直前でも間に合う 忘れがちな水害対策

水・食料品の買い出し
持ち出し用の水(1日3L)と食料品を最低3日分準備

避難生活に必要なもの
避難時に服用する持病薬などを準備

充電・電池の確認
スマホやラジオの予備バッテリーの充電や電池の確認

現金(少額)を用意
災害時に充電が起るとATMが使えなくなります

長靴ではなく運動靴
長靴は水が入ると歩きづらくなるため避難の際は運動靴で

車のガソリン残量を確認
避難(車中避難含む)に備えてガソリンを満タンに

スマホ・パソコンでハザードマップが確認できます!

市ホームページに災害に関する情報を掲載しています。「古河生活へいMAP」では、自宅の想定浸水深や避難経路の確認もできますので、マイ・タイムライン(水害避難行動計画表)の作成などに活用ください。

古河生活へいMAPはこちらから閲覧できます



主な機能

- 避難経路の検索
- 現在地表示や住所・地番検索で想定浸水深が分かる
- 過去の災害時の道路冠水危険箇所が分かる
- 任意の場所を切り取り印刷が可能(パソコンのみ)

災害時の情報収集はこちらから

古河市防災・防災メール



2次元コードからメールを受信

古河市防災アプリ コミュニティ



iOS用 Android用

古河市公式LINE



2次元コードから友だち追加

防災無線の内容をもう一歩聞きたいときは

フリーコール
0120-940-122

24時間以内に発信された内容が無料で確認できます。必要の際は、こちらにお電話ください。

特長 >>>>

誰も取り残さない 逃げ遅れゼロを目指して

今年も台風などによる水害への警戒が必要な時期になりました。水害は地震などに比べると、ある程度予測が可能な災害のひとつですが「今まで大丈夫だった」「その時に考えればいい」と楽観的に捉え、世帯から情報を集め、いざというときに備えましょう。

水害における古河市の3つの特性

- 1 利根川・渡良瀬川の大河川に面している
河川が迂回すると被害が大きくなりやすい。川の土質で大雨が続くと小さな情報収集が必要
- 2 浸水エリアが広く、市の半分程度の面積が浸水する恐れ
想定浸水深が3メートル以上の地域に住んでいる人は立ち退き避難(水平避難)が必要
- 3 車やバイクで避難を想定している人が多い浸水想定エリア内居住者の約8割
道路の冠水や冠水が発生しやすい。早めの避難行動が必要

必要な行動はどれ? 防災3択QUIZ

特集ページ(P4~7)をよく読んで、全問正解を目指しましょう! 答えは7ページの右下にあります。

Q1 非緊急時に持ち出す食料は何日分必要?	Q2 自宅から立ち退き避難が必要な想定浸水深は何メートル以上?	Q3 車で避難する場合、そのタイムングはいつ?
A 1日分 B 2日分 C 3日分	A 0.3メートル B 3メートル C 30メートル	A 高層等避難(階内レベル3) B 避難指示(階内レベル4) C 緊急安全確保(階内レベル5)

向堀川の浸水想定区域の公開について

令和4年2月に、向堀川の浸水想定区域が指定され、浸水想定区域図が公開されました。浸水の範囲をご確認いただき、安全な避難の確保にお役立てください。



掲載サイト
浸水想定区域図は茨城県土木部河川課ホームページで公開しています。

介護サービス: 障がい福祉サービス利用者への個別避難計画作成を支援します

個別避難計画とは、介護が必要な高齢者や障がい者が、大雨や地震などの災害に備えて、いつ・どこに、どのように避難すれば良いのか、あらかじめご家族や他の介護者などと相談・確認し、書面に記しておくことです。介護サービス障がい福祉サービスを利用している人は、この個別避難計画の作成を担当のケアマネジャーや相談支援専門員等が支援しています。一部実施していない事業者があります。作成を希望する人は、利用している事業者の担当者にお問い合わせください。作成に伴う個人の費用負担はありません。

地域の皆さんの安全な暮らしを守ります

R3 浸水想定区域指定工事



利用し、浸水想定区域が明確になった場合、地域への甚大な被害が想定されるため、浸水の範囲やそこで上げ等の防災整備が計画的に実施されています。南関東浸水工事は今秋4月の完成を予定しています。

浸水想定区域(イメージ)
浸水の範囲、計画上げ工事

国土交通省 有期(1週間)以上河川閉鎖時の取り組みです

河川の閉鎖が浸水してしまえば、安全な場所へ避難します。その際の避難先や避難のタイミングが自身のライフ・タイムラインとなります。避難する前に避難先や避難のタイミングを事前に確認し、避難の準備を整えましょう。

ゲームでとった行動や避難のタイミングが自身のライフ・タイムラインとなります。振り返って自分にとって最適な行動・タイムラインが確認できます。

特長 >>>>

ゲームを通して防災を学ぼう

市では、シミュレーションゲームを通して水害などに備えるための考え方や行動が学べる出前講座を開催しています。10人以上のグループであれば申し込みが可能です。地域の状況に合わせた防災や減災について学んでみませんか。

【問い合わせ先】7-1511



ゲームの内容を見てみよう!

各の家族構成・1軒当たり自宅1台・1台の子の4人家族・住んでいる場所: 水害小中学校

出前講座で打つゲームでは、大型台風が接近により利根川が氾濫する危険が迫った時、どのような避難するのという設定シミュレーションをします。ここではそのポイントを紹介します。

- 01 自宅の浸水リスクをチェック
- 02 水害が迫った際にとる行動をチェック
- 03 避難先、移動手段、避難経路をチェック
- 04 避難開始のタイミングをチェック
- 05 避難にかかる時間をチェック
- 06 避難完了・振り返りをします

ゲームでは、避難開始のタイミングや避難経路の状況、道の険しさを確認し、避難の準備を整えましょう。

ゲームでとった行動や避難のタイミングが自身のライフ・タイムラインとなります。振り返って自分にとって最適な行動・タイムラインが確認できます。

広報古河 2022年8月号より

7 - 広報古河 2022.8 [4ページ用紙3択QUIZの答え Q1：C、Q2：B、Q3：A]

広報古河 2022.8 - 6

掲載先URL: <https://www.city.ibaraki-koga.lg.jp/soshiki/hisyokouho/5/2022/15166.html>

・広報坂東令和4年5月19日号に広域避難に関する情報を掲載しました。

利根川や渡良瀬川の氾濫の危険性が高まったら
 ためらわず早めに **広域避難**

利根川中流4県境広域避難協議会
 (板倉町・加須市・古河市・埴町・坂東市・館林市・佐野市・真泉庁・利根川上流河川事務所)

交通防災課 ☎0297(21)2180

発行/坂東市 編集/松西広報課
 〒306-0692 茨城県坂東市若井 4365 番地 ☎0297(35)2121 / 0280(88)0111
 ホームページアドレス <https://www.city.bando.lg.jp/>

利根川が氾濫したら利根川沿いのほとんどの地域が浸水します!

市町では公的な避難先の確保を進めていますが、収容できる人数が限られます。
日頃から「親戚・知人宅や宿泊施設・勤務先等の自主避難先の確保」
 を考えておきましょう。

まず
 浸水のおそれが高い地域の
 親戚・知人宅や宿泊施設・勤務先等
各自で確保

つぎに
 市町が指定する
 避難先

浸水のおそれがある地域にお住いの親戚・知人がいる方は、
 避難の声かけや避難の要入れをお願いします。

利根川中流4県境広域避難協議会
 (板倉町・加須市・古河市・埴町・坂東市・館林市・佐野市・真泉庁・利根川上流河川事務所)

広域避難「逃げ遅れゼロ」を目指して

利根川が氾濫した際には、広範囲に深い浸水、長時間の浸水が想定されます。利根川中流域の5市町(坂東市、古河市、埴町、板倉町、加須市)の浸水区域内の人口は約13万人になり、大部分が浸水区域になる市町もあります。それらの市町の中で浸水区域の外に避難をしようとする避難所などに入れない方が大勢現れてきてしまいます。そのため、お住いの市町の外に避難をする広域避難が重要になります。

「広域避難先は、まず、浸水のおそれが低い親戚、知人宅や宿泊施設、勤め先などを検討ください。坂東市は、市内のみでの避難が可能な想定をしておりますが、市外からの避難者が予想されます。市民の皆様には、親戚、知人などから避難の受け入れを相談された際には、ご理解ご協力をお願いします。

利根川中流4県境広域避難協議会
 平成29年度に5市町をメンバーとして発足され、のちに館林市と佐野市が加入し、利根川氾濫時に「逃げ遅れゼロ」を実現するため自治体連携を含む広域避難体制の構築・運用のための検討を行っています。

坂東市役所 窓口業務時間(午前8時30分～午後5時15分) 障 口 降 雨 日 休 日 休 日 休 日 休 日
 広報ばんどう <http://www.city.bando.lg.jp/>

広報坂東 令和4年5月より

掲載先URL: <https://www.city.bando.lg.jp/page/page008753.html>

- 広報たてばやし令和4年6月号で水害の備えに関する情報を掲載しました。

Close up

—もしもの時に備えましょう！—

災害から命を守る

近年、全国各地で自然災害が頻発を繰り返す中、特に人命が奪われるなど、甚大な被害が多発しています。自然災害が起きたことを防ぐことはできませんが、私たちが日々の備えによって、その被害を軽減することは可能です。自然災害から「命」を守るため、一人ひとりが日頃から防災について意識し、いざというときに備えましょう。

早めの避難

市から避難情報が発表された場合は、危険な場所から速やかに避難しましょう。警戒レベルは、水害に備えて住民がなるべく行動をお知らせするためにレベル分けしたもので、市が避難情報と合わせて出す情報です。

日頃から災害に備えましょう

出水期の心得2022

国土委 心構え 危機管理・国土強靱化係（担当）5114



避難情報と求められる行動

<p>災害発生のおそれがある</p> <p>警戒レベル3</p> <p>高齢者等避難</p> <p>危険な場所から 高齢者等は避難</p>	<p>災害発生のおそれが高い</p> <p>警戒レベル4</p> <p>避難指示</p> <p>危険な場所から 全員避難</p>	<p>災害が発生・切迫</p> <p>警戒レベル5</p> <p>緊急安全確保</p> <p>命の危険 直ちに安全確保</p>
--	---	--

※市の災害の状況を客観的に把握できるものではないなどの理由から、警戒レベルは必ず発せられるものではありません。
※高齢者等避難は、高齢者だけに限らず、避難に時間がかかるかたが必要に応じ避難準備を促したり、危険を感じたら自主的に避難したりするタイミングです。

「避難」とは何をすればいいの？

小学校や公園に開設された避難所に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「命」を「守」けることで、次の方法があります。ふだんからどう行動するか決めておきましょう。

- 原則全員確保
- ハザードマップで次の1-3つの条件を確認し、自宅にいてもよいかどうかを確認しましょう。1-3つの条件を満たしていれば、浸水の危険があっても自宅にとどまり安全を確保することも可能です。
- ① 自宅の洪水から保護されるおそれのある区域（家屋側）にある
- ② 浸水が浸水する深さよりも高いところにある
- ③ 水が引くまで我慢でき、水や食料などが十分に準備できている

防災情報の入手

災害が発生した時、迅速に対応できるかどうかは事前の情報収集や準備にかかっています。日頃から、さまざまな手段で情報収集できるように準備しておきましょう。

waterCool

災害・防災情報などをすばやくお届け
アウトインフォカナル

台風や大雨の雨、気象情報や避難情報などが配信されます。事前にメールアドレスやアプリを登録しておきましょう。

iOS

Android

メール登録
空メールを選択

令和4年(2022) 6月1日号 Tatabayashi | 10

広報たてばやし 令和4年6月より

・ 広報とちぎ 令和4年8月号に広域避難に関する情報を掲載しました。

広域避難

まだ安全に移動できる時間帯に、車などで安全な地域に避難する方法です。

車中泊をする場合は、エコノミークラス症候群に注意が必要です。また、水が迫っている時などは、車での移動が危険なこともあります。



防災特集 「災害の記憶」に学ぶ
 関東・東北豪雨からまもなく7年、令和4年の日本台風が大きな被害をもたらすなかで、「災害の記憶」から学ぶ、災害への備えが大切になってきます。
 問合せ：危機管理課 電話(21)2551

情報収集
 栃木市公式ホームページ、Twitter、LINE、YouTube、防災メール、防災アプリ、防災マップ

避難
 避難は、「命」を「救」うこと。安全な場所への避難は、無難をし避難する必要があります。また、定期的な中身の見直しや換気確認による食品飲料の入替えも重要です。

家庭での備え
 非常持ち出し品の例、非常持ち出し品の要、避難情報

避難所開設・避難状況をパソコンスマホでチェック!
 避難所の開設・避難状況をパソコン・スマートフォンで確認することができます。

車の浸水が心配。どこかに避難させられませんか?
 車は、避難の要請を受けると、避難所へ避難させられます。車の浸水が心配な場合は、事前に避難所へ連絡し、避難の要請を受けると、避難所へ避難させられます。

広報とちぎ 令和4年8月より

・ 広報ちよだ令和4年8月号に広域避難に関する情報を掲載しました。

ホームページ
177世帯

メール
(Eメールなど)
424世帯

Twitter
28世帯

家族などと電話
141世帯

不明
123世帯

防災行政無線
465世帯

テレビ
(dデータ)
152世帯

その他
12世帯

5 防災情報の入手方法は？
3で、町内公共施設等に避難しと答えた方(複数回答可)

4 車何台で避難？
3で、避難するしと答えた方

1 回収世帯数は？

回収 2,125世帯
未回収 1,441世帯
3,566世帯

地区名	世帯数	地区名	世帯数
赤岩1区	74世帯	錦谷	68世帯
赤岩2区	138世帯	赤岩11区	153世帯
赤岩3区	288世帯	福島	138世帯
瀬戸井	71世帯	新福寺	102世帯
上五箇	143世帯	農木14区	96世帯
上中森	139世帯	農木15区	78世帯
下中森	147世帯	農木16区	274世帯
萱野	96世帯	17区	77世帯
木崎	43世帯	合計	2,125世帯

6 要配慮者はいる？
(複数回答可)

要配慮者	世帯数
高齢者	287世帯
介助が必要な方	68世帯
障がいのある方	65世帯
乳幼児	44世帯
障害者	22世帯
その他	195世帯
不明	111世帯
合計	792世帯

3 避難方面は？

避難先	世帯数
町内の公共施設等に避難	979世帯
町外の安全な場所に避難	782世帯
不明	86世帯

2 家族構成は？

POINT

指定福祉避難所

指定福祉避難所とは、災害時の避難所生活において、要配慮者が安心して避難生活を送れる体制を整備した避難所のこと。町では次の施設を指定しました。町民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

▼指定施設

- ①総合保健福祉センター
- ②自立支援センター

▼利用対象者

要配慮者とその家族

※福祉施設に特化した避難場所のため、通常避難者は利用できません。

7 避難するタイミングは？
3で、避難するしと答えた方

8 避難しない・避難できない理由

理由	世帯数
不明	278世帯
自宅が安全	168世帯
ペットがいる	43世帯
移動できない	19世帯
体が動かない	6世帯
その他	4世帯
不明	36世帯
合計	278世帯

9 町内公共施設等に避難

施設名	世帯数
ジョイフル本田	389世帯
KARINUMAアークアーク	24世帯
東小中学校	19世帯
北斎調理場	2世帯

10 町外の安全な場所に避難

市町村名	世帯数
鹿嶋市	203世帯
水田市	169世帯
大畑町	169世帯
足利市	59世帯
熊谷市	18世帯
佐野市	10世帯
その他	80世帯
不明	74世帯
合計	782世帯

広報ちよだ令和4年8月号に広域避難に関する情報を掲載しました。

年に1度は、水害からの避難方法を本気で考えよう

令和4年2月に町が実施した広域避難のアンケート結果を見直していただきました。町民の皆さんの回答結果から、今すぐ具体的に確認したり、考えたりしてほしいことをまとめました。防災、特に水害からの避難方法を考える際の二助としていただければ幸いです。

ハザードマップで浸水リスクの確認を！

利根川および渡良瀬川流域に1000年に一度の確率で発生する大雨が降って、雨が決壊した堤防、千代田町のほぼ全域が浸水し、多くのところから9.5メートルの浸水が想定されています。そして、町の東に位置する行政区では、浸水が3日以上継続することも想定されています。つまり、町内で水をやり過ごすのは、とても難しい地域であるといえます。

自宅でもやり過ごすことができるのか、今一度考えよう！

「避難しない、避難できない」と回答した方は、本当に自宅でも水害をやり過ごすことができるのか、今一度考えてみてください。自宅の2階が浸水しなかったとしても、数日間浸水が継続する可能性があるなかで、本当に自宅に留まることができるのか、自宅に留まることができず、アンケート結果によると、災害時「要配慮者」と同居している」と回答したのは7.2世帯

町内避難では車がダメになります。

「町内公共施設等に避難」と回答した方々は、「車がダメな理由」として、「避難先での不備」を覚悟しておく必要があります。町内全域が浸水するため、自りに車を停めておいても、避難所へ停めておいても浸水して廃車になってしまう可能性が高です。また、限られた施設への限られたスペース（高齢者や体弱者は浸水するのでも使えない）に、多くの避難者を受容することになるため、とても混雑した状況で数日間過ごすことになる



群馬大学大学院理工学府 教授

金井 昌信

群馬県桐生市生まれ。現在、群馬大学大学院理工学府の教授。専門は防災社会工学。小中学校における防災教育の実践、地域コミュニティ単位での避難計画など、地域の防災力向上に関する実践的な研究を行っている。

に実行するのとはとても難しいことです。アンケート結果では、町外または町内に避難すると回答した1,761世帯のうち、「雨・風が強く、前1に避難を開始すると回答した」のは160世帯、「雨・風が強くなったら」と回答したのは70世帯ととても少なく、多くの世帯は「高齢者や避難、避難指示」がでたら避難を開始すると回答していましたが、つまり、多くの世帯が同じタイミングで行動を開始することになるので、町内の道路が渋滞する可能性があります。頭には周辺の小さな河川などがあって道路が水浸ししてしまい、安全に車で移動することができないかもしれません。早めに町外に避難する方

法だけでなく、逃げ遅れた場合、自宅近くの避難所とは異なるのか、自宅でもやり過ごすことはできるのか、も検討しておいてください。

「理想的」より「現実的」に本気で考えよう

千代田町全域において、浸水が想定されているため、町外の安全な場所まで避難することが理想的な対応です。しかし、これを行うことはとても難しいです。また、災害発生直前の早い段階で行動を開始する必要があります。しかし、心理的な抵抗があるかもしれません。そのため、公共施設だけでなく、大型販売

店の駐車場や親せき・知人家など、日頃から行き慣れた場所を広域避難場所として具体的に検討しておくといえます。

3つの避難方法を考えよう

「町内公共施設等に避難」と回答した方々は、「車がダメな理由」として、「避難先での不備」を覚悟しておく必要があります。町内全域が浸水するため、自りに車を停めておいても、避難所へ停めておいても浸水して廃車になってしまう可能性が高です。また、限られた施設への限られたスペース（高齢者や体弱者は浸水するのでも使えない）に、多くの避難者を受容することになるため、とても混雑した状況で数日間過ごすことになる



■出典：ハザードマップポータルサイト

広域避難の受入施設

「災害時における館林市邑楽郡隣接一市五町相互応援協定」に基づく、広域避難の受入施設となります。

▼受入先となる施設

施設名	住所
館林高等学校	館林市富士原町1241
館林女子高等学校	館林市尾曳町6-1
館林高等看護学院	館林市苗木2497-1

※上記以外の受入先も調整しています。

町施設で実際に1泊避難所体験教室



7月23日～24日、コスメ・ニスト千代田町プラザのホールにおいて、「避難所体験教室」が行われました。群馬大学大学院理工学府・金井教授のもと、避難所生活のルールや非常持出品などを学び、実際に段ボールパーティションで作った仮床で1泊する体験をしました。神田純之介くん（舞木・小5）は、「夜はあまり眠れなかったです」と話しました。

▼協賛企業 ジョイフル本千代田店、群馬トヨタ自動車、ネットヨタ高崎、群馬森紙業、伊藤園、タイド・ティースコムピハレック